



## 日本でいちばん暑い日と、寒い日の気温は何度だったの

### いちばん暑かった日の気温は 40.8

今までに日本でいちばん暑かった日は、1933年7月25日に山形市で記録されたものです。そのときの気温は、40.8 にもなりました。つい最近では、1994年8月に、京都と甲府で、39.8 を記録しました。

日本でいちばん暑くなる所というと、南の方の沖縄あたりではないかと、思われます。たしかに、沖縄は亜熱帯気候にぞくし、暑くなる所です。けれども、いちばん暑かった日を記録したのは、北国の山形市だったのです。

### フェーン現象で気温が高くなる

山形市は、山に囲まれた盆地で、フェーン現象が起りやすい地形になっています。太平洋側からくる湿った空気が、日本の中央にある山脈にあたって雲をつくり、雨を降らせませす。この空気が山脈をこえて山を降りるときに、空気が乾燥して気温が高くなります。このような現象を、フェーン現象といいます。

このとき、山形市でフェーン現象が起きたために、高い気温になったのです。

### いちばん寒かった日の気温はマイナス4.1

日本でいちばん寒い気温を記録したのは、1902年1月25日、北海道の旭川です。そのときの気温は、マイナス4.1 です。(監修・村山 貢司)

